

本市の伝統産業の振興と地域の活性化を図ることを目的に「清酒による乾杯の普及促進条例」を制定(平成25年)



世界最長のつり橋、明石海峡大橋の開通を記念して、ときめき明石・海峡まつりが開催されました。(平成10年)



大蔵コミュニティセンターがオープン(昭和47年)



2019年	2010年代		2000年代		1990年代		1980年代		1970年代														
令和元年	平成31年	平成30年	平成28年	平成27年	平成25年	平成24年	平成23年	平成20年	平成18年	平成15年	平成13年	平成10年	平成7年	平成2年	平成元年	昭和56年	昭和55年	昭和52年	昭和49年	昭和47年	昭和45年		
市の人口29万9094人(令和元年10月1日現在)	明石市議会基本条例に災害時の対応を追加	高校生議会を初めて開催	政務活動費収支報告書・領収書等の閲覧制度を開始	住民投票条例案を賛成なしで否決	明石市議会基本条例を制定 清酒による乾杯の普及促進条例を制定	明石市議会議員定数条例を改正し、平成27年4月より議員定数を31名から30名に削減することを決定	明石市議会政治倫理条例を制定	明石市議会のあるべき姿、明石市議会議員のあるべき姿がまとまる 本会議のインターネット録画中継を開始 市議会だよりのカラー印刷を開始	議会の議員報酬および政務調査費を減額する条例改正案を可決	議員定数を33名から31名に削減	大蔵海岸が竣工「ときめき明石・海峡まつり'98」開催	大蔵海岸が竣工「ときめき明石・海峡まつり'98」開催	兵庫県南部地震による被害発生	明石で生産されたノリをブランド化、明石観光協会などで販売	ゴミの分別収集を全市へ拡大、収集をカゴ方式から袋方式に変更 市制70周年を記念して明石公園にとき打ち太鼓設置	中華人民共和国・無錫市と友好都市提携	明姫幹線全線開通(西明石―高砂の間22.6km)	公設地方卸売市場開場	市立および県立図書館、中央公民館開館(明石公園内)	コミセン第1号を大蔵中学校内に開設(大蔵コミュニティセンター)	新庁舎が現在地(中崎一丁目)に竣工・移転	市議会が議員定数特別委員会を設置し、昭和46年4月より議員定数を24名から33名に増員することを決定	昭和45年

平成23年から27年の議会活性化のあゆみ(市議会だより第225号より)



市民の思いを反映するため、議会として今とあるべきかについて話し合い、明石市議会のあるべき姿を策定しました。(平成20年)

基本理念

憲法第93条において、議会は地方公共団体の議事機関として設置するとされている。

明石市議会は、共に市民から選ばれた市長並びに議員からなる市議会という二元代表制のもと、議論を尽くして合意形成を図る合議制の意思決定機関として、多様な民意を市政に反映し、市民の責任に資するため、市長とは独立、対等の立場で相互に牽制しながら、政策決定及び事務の執行についての監視、評価等を行うとともに自らも政策立案、政策提言を行う。

さらには、積極的に情報公開、市民参加を推進し、市民のための開かれた市議会を目指すとともに、時代の流れに的確に対応できるよう常に議会の活性化に取り組むものとする。



未来を担う若者が議会や市政について関心を深め、まちへの愛着を深める機会として高校生議会を開催しました。(平成30年)

東西交通の大動脈となる明姫幹線が全線で開通しました。(昭和55年)



無錫市と友好都市提携を結びました。(昭和56年)

無錫市との友好都市提携決議

〔昭和五十六年五月臨時市議会会議録一〕

議案第五九号
友好都市提携のこと

本市は、下記の市と友好都市提携を結ぶ。

昭和五十六年五月二日提出
明石市長 衣笠 哲

昭和五十六年五月一日四日
原案可決確定

記

一 国名及び省名 中華人民共和国江蘇省
二 市長 名 無錫市
三 市長 名 馬 健

(提案理由)

本案は、本市と中華人民共和国無錫市との間で、両市の友好往來を一層強化し、都市管理、科学技術、文化、医学、教育、体育等分野において広範な交流を進め、国際間の理解と親善を深めるため、友好都市提携を結ぶうとするものである。